

# 青少年赤十字「総合的な学習の時間」サポートプログラム 提供プログラム一覧

## 1 出前講座

	項 目	内 容
1	救 急 法 講 習	ただちに手当が必要な場合の応急処置（人工呼吸や心臓マッサージなど）、学校でのケガや熱中症などの処置について実技を中心に学習する。
2	水 上 安 全 法 講 習	自分が溺れないための技術（着衣泳体験と衣類等の活用）、泳がないで救助する方法や水の事故を防止するための方法を学習する。
3	健康生活支援講習	介護が必要な人のお世話の仕方（食事・排泄・衣類の交換等）の知識と技術を学習する。また、車イスの介助方法について体験的学習をする。
4	幼 児 安 全 法 講 習	幼児（1歳～6歳）に起こりやすい病気の対応と事故の予防や応急手当を学習する。
5	災害時の救護体験	赤十字の重要な事業の1つである災害救護（エアテント、救護所、救護設備や運搬等）について体験的学習する。
6	災害時の食事体験	特殊な袋を使い、水だけでなく、冷蔵庫の中にあるジュースや牛乳などでもご飯が炊ける災害時の非常炊き出しを体験する。
7	防 災 教 育 事 業	災害についての知識をつけ、まずは自分の命は自分で守ることから、防災・減災について学習する。
8	募 金 に つ い て	義援金・救援金や青少年赤十字1円玉募金などの募金活動をする際の注意点や集めた募金の使われ方などについて学習する。
9	無 線 に つ い て	無線（トランシーバー）等の使用方法・災害時の情報伝達の方法について学習する。
10	国 際 人 道 法	世界189カ国が加入しているジュネーブ条約をはじめとする国際人道法。なぜ、国際人道法が必要なのかを学ぶ。
11	トピックアルバム作成	世界の子どもたちとの情報交換の手段であるトピックアルバムの作成を行う。アルバムのやりとりは赤十字の国際的なネットワークを利用。
12	看 護 の 体 験 話	看護師を目指す人や興味のある人のために大分赤十字病院の看護師が看護の体験をお話します。
13	海 外 の お 話	世界で生きる子どもたちの様子を学習し、青少年赤十字メンバーとしてできることを考える。
14	赤 十 字 の お 話	「人道」を基本とする赤十字の成り立ちから現在の活動についてお話します。
15	献 血 の お 話	なぜ献血が必要なのか。献血で集められた血液がどのように使われているかなど、献血と血液に関するお話をします。
16	創 作 活 動	お見舞いカード・折り紙・コマ・模型などを作成します。

## 2 見学体験講座

	項 目	内 容
1	日本赤十字社大分県支部	大分県における赤十字の拠点である日本赤十字社大分県支部の見学
2	大 分 赤 十 字 病 院	災害時に医療救護の拠点となる大分赤十字病院の見学
3	大分県赤十字血液センター	献血で集められた血液がどのように使われているのか。県内の医療機関に輸血用血液を供給している血液センターの見学
4	看 護 体 験	大分赤十字病院での1日看護体験

令和 年 月 日

日本赤十字社大分県支部長 様

学 校 名

学校長名

㊦

青少年赤十字「総合的な学習の時間」サポートプログラム申込書

開催日時	令和 年 月 日 ( 曜日 ) 時 分 ~ 時 分		
開催場所	会場名 住 所 T E L		
受講者	教職員	人 (うち男 人、女 人)	
	児童・生徒	年 人 (うち男 人、女 人)	
	児童・生徒	年 人 (うち男 人、女 人)	
	児童・生徒	年 人 (うち男 人、女 人)	
		計 人	
希望講座			
担当者	氏 名 連絡先 ☎		
その他参考 となる事項			

※ 学校外で開催する場合は開催場所周辺の地図を添付して下さい。

## ◎青少年赤十字「総合的な学習の時間」サポートプログラム申し込み方法

- ・各学校へ、赤十字関係者を講師として派遣する「出前講座」と県内の赤十字施設へ児童 生徒を受け入れる「見学体験講座」があります。
  - ・基本的にどの講座を選択していただいても結構です。
  - ・青少年赤十字未加盟校でも1回は体験のため申し込みできますが、2回目以降は加盟したうえで申し込みをお願いします。
  - ・重複した場合は、加盟校が優先になります。
  - ・赤十字事業等の関係で、希望日に講師を派遣できない場合もありますのであらかじめご了承ください。
  - ・原則として講師派遣にかかる経費は無料ですが、講座にかかる実費を負担していただく場合があります。（経費については事前に担当者にご確認願います。）
- ※実費とは、**青少年赤十字が提供する有料の学習資料の代金**です。

### ・ 申し込みの手順

サポートプログラム中に実施したい項目があれば実施希望日の2か月以上前に、日本赤十字社大分県支部に連絡し、期日・内容等を確認する。



担当者と調整のうえ実施可能であれば、サポートプログラム申込書に必要事項を記入のうえ日本赤十字社大分県支部に提出する。

※申込書は遅くとも実施日の1か月以上前までに届くようにしてください。



日本赤十字社大分県支部で講師を調整のうえ担当の先生にご連絡いたします。

※申込書を提出する前に、必ず日本赤十字社大分県支部に連絡のうえ、期日等実施可能かご確認下さい。